

南極観測船「しらせ」の状況について

1. 南極観測船「しらせ」は、昨年11月11日（日）に晴海ふ頭から豪州・フリーマントルを經由し、南極昭和基地に向かって出港した。

2. 「しらせ」の行動計画の期間

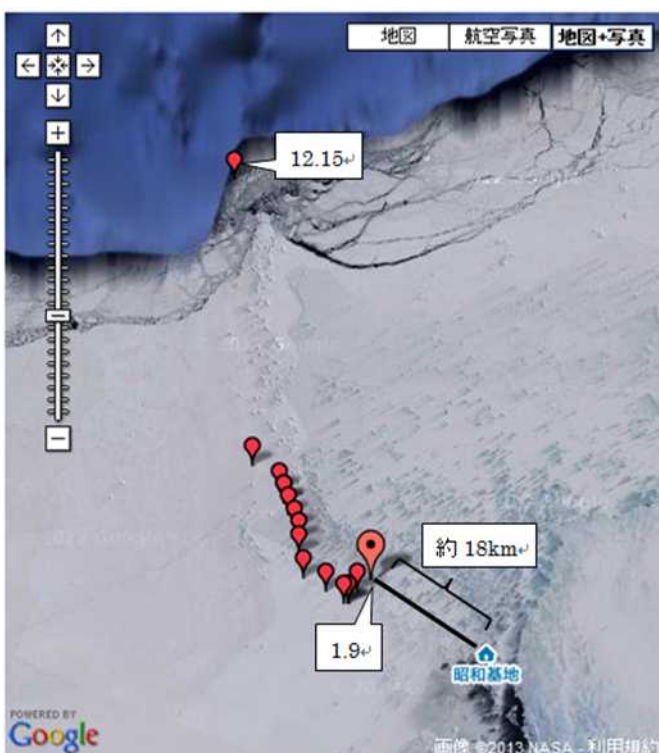
平成24年11月11日（日）～平成25年4月10日（水）

3. 「しらせ」の状況

「しらせ」の現在位置は、昭和基地の北西約18キロメートルにあり、付近は4m～5mの氷と1m余りの積雪がある。輸送に適切な地点まで進んだ後に、空輸を実施する予定。

4. 今後の予定

第54次南極地域観測隊行動実施計画（第141回南極地域観測統合推進本部総会（平成24年11月9日開催））に基づき、「しらせ」が昭和基地沖への接岸不能の場合の物資輸送について、ヘリコプターによる空輸を行う。現時点では、氷上が水浸しの状態となっており雪上車による氷上輸送は出来ない状況であるが、氷の状態が良くなれば最適な経路を調査し氷上輸送を行うこととしている。



（国立極地研究所 HP「進め！しらせ」より抜粋）

「しらせ」概要

建造年	2009
長さ	138m
幅	28m
喫水	9m

排水量	12,650 t
砕氷能力	1.5m×3ノット

過去の昭和基地接岸の状況

船名（隊次）	接岸／回数
宗谷（1－6）	0／6
ふじ（7－24）	6／18
前しらせ（25－49）	24／25
現しらせ（51－）	2／4

- ・「しらせ」となってからは、第35次（平成5年）、第53次（平成24年）も接岸不能。